

プロフィール

活動地	徳島県徳島市
氏名	江川 禎彦
活動名称	障がい者（児）に対するスポーツ活動支援 及び社会参加の促進
PRポイント	生涯体育
連携している 団体等	特別支援学校、スポーツ団体、社会福祉法人、 行政（保健・福祉部局）

功労者表彰

活動分野
スポーツ
主な対象
障がい種問わず (主に肢体不自由)

活動の説明

①活動内容	<p>昭和39年3月に日本体育大学卒業後、特別支援学校等の教員として勤務する中、自身の専門である陸上競技を通して、障がいのある方々に「スポーツの楽しさ」を伝えたいと考え、昭和62年に、かねてより親交のあった（財）とくしまノーマライゼーション促進協会（現徳島県障がい者スポーツ協会）主催の全国大会県内予選会で陸上競技審判に携わり、県障がい者陸上競技の強化練習コーチに就任、同年全国身体障害者スポーツ大会（沖縄大会）から徳島県選手団陸上コーチとして、選手の指導・育成に携わっています。</p> <p>選手を指導・育成する上で一番大切にしていることは、「障がいを正しく理解するだけでなく、相手の気持ちもしっかり理解する」ということ。選手一人ひとりに声を掛けることで心を通わせ、言葉と態度で「きちんと伝え」そして「伝わった」ことを確認しながら、少しずつ確実に選手を育てていきます。その丁寧で温もりある指導方法は、他の指導者にも大きな影響を与え、徳島県の指導者育成にもつながっています。</p> <p>現在も「生涯体育」を掲げ、障がい者スポーツの振興に尽力するかたわら、2022年の徳島マスターズ陸上競技選手権大会出場（やり投げ）に向け、日々トレーニングに取り組んでいます。</p>
②活動の経緯・体制	<p>特別支援学校等の教員時代から、障がい者のスポーツ活動の重要性を認識していました。特に幼少期からスポーツに親しむことで、運動・スポーツ習慣を定着させることは、学校卒業後のスポーツ活動の継続や健康維持、社会参加の促進につながると考え、県行政や障がい者スポーツの中心的な役割を担う県障がい者スポーツ協会・県障害者スポーツ指導者協議会等と連携し、障がい者のスポーツ活動を支える指導者の育成、地域で障がい者がスポーツに親しむことができる環境づくりに尽力しています。</p>
③活動の効果等	<p>徳島県選手団陸上コーチとして、障がい者（児）の選手育成や競技力向上とともに、指導者の充実や指導スキルの伝授など、多くの選手や指導者を育ててきました。その活動は、障がい者が「いつでも」「どこでも」スポーツに親しむことができる環境づくりへとつながっています。また、行政や障がい者スポーツ協会等と連携することで、特別支援学校生等が卒業後もスポーツ活動を続ける体制が整えられ、「生涯体育」につながるような効果が出ています。</p>

活動の様子

	
全国障害者スポーツ大会強化練習での指導の様子	指導選手のメダル獲得後の様子